

新戦略のテーマ

地域経済の活性化やアフターコロナ社会への対応を図る取組みを通じ、岐阜県におけるこれからのライフスタイルを実現

県営都市公園が果たすべき役割

地域経済

■多様な観光スタイル

- 広域観光
 - ◆ アクセス改善による誘客
 - ◆ 県内観光の周遊拠点化
- マイクロツーリズム
 - ◆ 近距離観光の受け皿
 - ◆ 地元資源の再発見

■地域経済発展

- ◆ 県産品活用
- ◆ 岐阜ブランド発信
- ◆ 地域資源とのつながり

■アウトドアライフ

- ◆ 密を避けた屋外空間の活用
(青空の下でのレクリエーション)
- ◆ 屋外活動の場としての公園
- ◆ 働く場としての公園

■労働環境・住まい方の変化

- ◆ 地方居住・複数地域居住・企業移転への呼び水
- ◆ テクノストレスからの解放、癒し
- ◆ 家族で過ごす遊び環境の創出

■健康増進・子育て

- ◆ 安全・安心な活動環境の提供
- ◆ 屋外でのスポーツ、健康づくり、育児の場

家族・コミュニケーション

健康

実現に向けた基本方針

(1) 岐阜のゲートウェイとしての機能の強化

近隣から広域に至る幅広い利用者に「岐阜」を体感してもらう機会の創出に積極的に取り組むことで、地域経済の振興や交流人口の拡大の一翼を担う。

■周遊拠点としての機能強化 ■県産品を活用した「食」の充実 ■アウトドア活動の展開

(2) 安全・安心な空間・サービスの提供

アフターコロナにおける新生活様式“ニューノーマル”を前提に、安全で安心して過ごせる空間・サービスの提供とともに、国土・産業構造や労働形態の変化への対応に取り組む。

■暮らしの一部としての公園 ■新技術の積極的導入 ■癒しの場・健康活動の充実

(3) 成功体験の横展開による自走型運営の確立

前戦略下でのソフト・ハード両面における成功体験の横展開により、園内消費拡大などにつなげる管理運営の好循環を形成し、公園の「自走型運営」を確立する。

■ソフト・ハードにわたる集客力の強化 ■園内消費の拡大 ■民間投資の誘導

(4) プロモーションの強化

■広域的な知名度向上 ■ターゲット層の分析・設定 ■イベントの展開

(5) 社会的貢献の推進

■SDGsの推進 ■生物多様性の保全活動 ■災害時の避難・復旧拠点

各公園の重点的な展開

花フェスタ記念公園

「世界に誇るバラ園を中心に花による感動をつたえる」

- ・四季楽しめる花回廊の整備によるバラ以外の見所の充実
- ・ワーケーションの実証・環境整備など新しい生活様式への対応
- ・名称変更と料金体系の見直しによるプロモーション強化
- ・情報発信、物販などのサービス向上のための西ゲート施設の改良

ぎふ清流里山公園

「人と自然が共生する里山の暮らしと文化に親しむ」

- ・道の駅、宿泊施設等との連携によるゲートウェイ機能強化
- ・県産品や県郷土料理を活用した食の充実
- ・里山の暮らしを実感できる自然体験、農業体験の充実強化
- ・里川景観の創出と水遊び広場の整備

岐阜県百年公園

「緑豊かな空間で心身の健康を育む」

- ・ジョギングなど健康づくり、リラクゼーションのための環境整備
- ・自然の中でのアウトドア体験や遊具の充実

養老公園

「健康長寿の願いと命への感謝が込められた自然と歴史をたどる」

- ・眺望を活かした食空間の充実（楽市楽座・時計台改修によるテラス整備）
- ・乳児から高齢者まで全世代が楽しめる遊具等の整備
- ・パークゴルフ場等のリノベーションによる屋外活動の拠点機能の充実
- ・イベントやSNSを活用した効果的な集客プロモーションの展開

世界淡水魚園

「川が育む豊かな自然と文化にふれ、生き物に親しむ」

- ・デジタルサイネージ整備など本県のゲートウェイ機能の充実
- ・県産品の販売・PR機能の充実
- ・屋根付き多目的広場の整備など多様な利用への対応
- ・希少種をはじめとした種の保存活動、魚に親しむ場の整備充実

各務原公園

「子育て世代に安全・安心な遊び場を提供する」

- ・駐車場、トイレのリニューアルなどホスピタリティの向上
- ・遊歩道の整備など散策環境の充実

評価指標

- (1) 入園者数 ⇒1000万人 (R1: 774万人)
- (2) 園内売上げ ⇒20%増 (R1比)
- (3) SNS (インスタ) 投稿数 ⇒100万件 (R2: 20万件)

- (4) 新技術の活用
- (5) 県産品の活用
- (6) 地域連携事業
- (7) 環境活動

⇒各項目、各公園で2つ以上の取組み